

厚生委員会視察報告～なすまどか 困難を抱える市民を守る重層的な支援体制・ 子どもの権利擁護・ヤングケアラー対策を視察

市議会厚生委員会は10月17日～19日に、名古屋市、姫路市を視察しました。名古屋市では、「困難を抱える市民への重層的な支

援のあり方」、「子どもの権利擁護機関の運営」、姫路市では「ヤングケアラー対策」の取り組みを学びました。詳細は以下の通りです。

名古屋市 縦割りの支援体制ではなく包括的な支援体制

近年、個人や世帯が抱える生きづらさや困難事例が複雑化・多様化しており、従来の分野別（子ども、高齢者、障がい者など）の相談窓口では対応が難しい、また困っているにも関わらず支援の手が行き届かない「制度の狭間の問題」が大きな課題となっています。

また、親の高齢化と子どもの引きこもりが重複した事例など、複

合的な課題を抱えた世帯が増えています。

名古屋市が行っている重層事業は、既存の枠組みを超えて、①断らない相談支援、②参加支援、③地域づくりに向けた支援の3つの支援を一体的に行うことで困難を抱える市民への包括的な支援を行っています。



様々な分野の相談機関が集まり個別ケースへの対応を協議

取り組みの特徴は、市民から複雑な相談があったとき、そのケースに応じ、子ども、高齢者、障がい者、貧困など様々な分野の機関が集まり検討会議を重ね、包括的な支援に繋

がれていることです。ただ、調整や連携を担っているのが社協であり、市としての主体的な関わりが今後の課題となっていました。

姫路市 ヤングケアラーの発見・支援体制を確立

ヤングケアラーとは？ 法律上の定義はありませんが、厚生労働省のホームページでは、ヤングケアラー（姫路市では18歳未満）の具体例として以下のような事例が紹介されています。



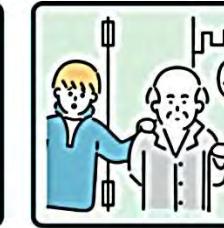
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいはしている



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

自覚がなく表面化しにくい

ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題であること、本人や家族に自覚がないといった理由から、支援が必要であっても表面化しにくいという特徴があります。

姫路市では、福祉、介護、医療、教育などの様々な分野の機関が「ヤングケアラーである可能性」を念頭に置いたうえで、チェックシートを活用しながら発見・把握に努めています。

ヤングケアラーへの支援については、教育・福祉・障がい者など多様な機関が連携して対応しています。

そのうえで、①本人が自覚がないことを前提に丁寧に説明すること②家族のケアをしていることを否定しないことなど発見時の対応における注意点、ケースに応じた対応（相談機関へのつなぎ等）をマニュアル化するなど、発見から支援までの具体的な支援策を講じていました。

2022年第4回定例会の日程が決まりました

11月16日の議会運営員会で、今年最後となる第4回定例会（12月議会）の日程が決まりました。急激な物価高騰が続く中、苦しい市民生活をどう守っていくのか、「第8波」が懸念される新型コロナへの対応、住民要求の実現など、たくさんの課題があります。みなさんの声を議会へしっかり届けます。率直なご意見・要望・実情など、お寄せください。

【日程】

11月30日 開会日・本会議

12月2日 一般質問 ①島津（市民）②落水（熊自）③大石（自民）

5日 一般質問 ①井本（公明）②上野（共産）③緒方（無所属）

6日 一般質問 ①山内（市民）②藤山（熊自）③田島（自民）

7日 一般質問 ①浜田（公明）②田中誠（熊自）③三森（公明）

8日 一般質問 ①田中敦（熊自）

12日 予算決算委員会分科会・常任委員会（請願・陳情の趣旨説明）

16日 予算決算委員会・しめくくり質疑

20日 最終日・本会議（質疑・討論・表決）



* 請願締め切りは、11月30日(水)午後5時
* 陳情締め切りは、12月6日(火)午後5時
☆ 請願・陳情の趣旨説明は、12月12日
分科会・常任委員会の冒頭になります。

日本共産党
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
発行: 日本共産党熊本市議団HP: 共産党 熊本市議団

NO. 1301

2022年11月20日号

電話 328-2656

FAX 359-5047



検索



上野みえこ
(中央区)



なすまどか
(東区)

上野みえこ議員が一般質問を行います

日時：12月5日（月）午前11時10分～12時10分まで

場所：熊本市役所議会棟・本会議場（傍聴席は5階）

* 取り上げてほしいテーマなど、ご意見をお寄せください。

* 議場傍聴席での直接傍聴と、市議会HPのインターネット同時中継があります。

議会の傍聴について

● 本会議は、本会議場傍聴席で直接傍聴できます。

* 直接傍聴には、感染対策が必要です。（検温、消毒、マスク着用など）

* インターネット中継ならびに録画放映もあります。（熊本市役所HP）

● 委員会では、市役所議会棟のモニター傍聴とYouTube配信があります。

（詳しくは、議会事務局へお尋ねください。☎328-2687）

【控室から】
市長選挙でのますだ牧子さんの訴え
11月13日、市長選挙の投票が行われ、現職の大西市長が3期目の当選を果たしました。様々な市民団体が構成し、日本共産党も参加する「熊本市をよくする市民の会」から立候補したますだ牧子さんは残念ながら当選を果たすことができませんでした。私もますださんの候補者力に乗り、市内各地での遊説に同行しました。「困った人をだれひとり取り残さない」あったか市政の実現」を目指したますださん。演説では「税や水道代、国民健康保険料の滞納は、市民からのSOS」「市民の苦しみを一緒に解決していける行政でなければならない」との訴えが印象的でした。
市議を7期28年務め、現在は「生活と健康を守る会」の会長として、生活相談があればスクーターを飛ばし悩みや現状を丁寧に聞いています。また、市民の権利を守るために行政を相手とする裁判活動を粘り強くたたかうなど、多岐にわたる活動に取り組んでいる方です。
人と会った時は「ちゃんとして飯食べていますか？」と、健康や生活状況を心配する一言を投げかけます。ますださんの対応は、相手の心を温かくし安心を与えてくれます。選挙結果を受け、こんな人が市長になってくれればとの悔しい思いが込み上げます。ますださんが掲げられた公約の実現のために、私自身も全力で取り組む決意です。

なすまどか